

SACSI S 2008 アンケート用紙

SACSI S 2008 へのご参加ありがとうございます。今後のシンポジウム運営の参考とさせて頂きたくアンケートにご協力をお願い致します。

1. あなたの所属・職種は次のどれに該当しますか？

- (1) 大学・教員 (2) 大学・学士課程 (3) 大学・修士課程 (4) 大学・博士課程
(5) 公的機関・研究職 (6) 公的機関・その他 (7) 企業・研究職 (8) 企業・その他 (9) その他()

2. あなたは次のどれに該当しますか？(をつけて下さい。)

- (1) 情報処理学会会員で(ある・ない) (2) 電子情報通信学会会員で(ある・ない) (2) IEEE 会員で(ある・ない)

3. あなたはどの研究会、専門委員会に登録されていますか？(該当するものがあればすべて・複数回答可)

- (1) ARC (2) OS (3) HPC (4) PRO (5) CPSY (6) DC
(7) RECONF (8) EMB (9) IEEE CS (10) その他()

4. これまで SACSI S に参加したことがありますか？

- (1) 1回 (2) 2回 (3) 3回 (4) 4回以上 (5) 0回 (今回が初参加)
{そのうち、SACSI S2005@つくば SACSI S2006@大阪 SACSI S2007@東京 に参加した (参加したものに をつけて下さい)}

5. SACSI S2008 のことは何で知りましたか？(複数回答可)

- (1) メーリングリストで(メーリングリスト名:) (2) 知人/教員/上司から (3) 情報処理学会 Web ページで
(4) Web 検索から (検索エンジン:) (5) その他()

6. 今回の参加の主な目的はなんですか？

- (1) 発表 (2) 聞きたい発表(セッション)があった(発表/セッション名:)
(3) チュートリアル参加 (4) 基調講演/招待講演への参加 (5) Cell スピードチャレンジへの参加
(6) 最新技術動向の調査 (7) その他()

7. 次の講演、チュートリアルについてはどうでしたか？

参加の場合: (1)非常によかった (2)よかった (3)どちらでもない (4)よくなかった

不参加の場合: (a)よさそう (b)どちらでもない (c)よくなさそう

から選んで記入して下さい

- (1) 基調講演 (グリッドコンピューティングの現状と将来 - 明日はクラウドイなのか? -) []
(2) 招待講演 (Why Computer Architecture will Now Drive Computer Science) []
(3) チュートリアル データセンターにおける電力供給システムと省電力化 []
FPGA による高性能計算 []

8. 今回はチュートリアルの講演数を 2 件にしました(2006, 2007 は 3 件)。これについてどのように思いますか？

- (1) 増やしてほしい (2) ちょうどよい (3) 減らしてほしい
今後チュートリアルをやる時に取上げて欲しいテーマは何ですか？()

9. Cell スピードチャレンジを企画しました。これについてどのように思いますか？

- (1) 非常によかった (2) よかった (3) あってもよい (4) 不要 (5) その他 ()

10. インダストリアル・セッションを企画しました。ご参加になりましたか？また、どのように思いますか？

- (1) 非常によかった (2) よかった (3) あってもよい (4) 不要 (5) 不参加。理由 ()

11. 企業展示を企画しました。企業展示をご覧になりましたか？また、どのように思いますか？

- (1) 非常によかった (2) よかった (3) あってもよい (4) 不要 (5) 見ていない。理由 ()

12. 今回のシンポジウム全般、シンポジウムの運営に関してコメントがあればご自由にお書き下さい。

SACSI S2008 アンケート集計結果

有効回答数 93 (有料入場者数:250 人、回収率 37.2%)

全体集計結果

問1. 所属・職種

大学・教員	大学・学士	大学・修士	大学・博士	公的機関 研究職	公的機関 その他	企業 研究職	企業 その他	その他
32	16	22	5	5	9	3	0	1

その他:大学・PD

問2. 所属学会

情報処理学会	電子情報通信学会	IEEE CS
87	64	58

問3. 所属研究会 / 専門委員会

ARC	OS	HPC	PRO	CPSY	DC	RECONF	EMB	IEEE-CS	その他
40	8	34	11	7	0	7	1	8	1

その他:CSEC

問4. 過去の参加

(ア) 過去参加回数

0回(初参加)	1回	2回	3回	4回以上
38	13	7	4	30

(イ) 最近の SACSI S への参加

2005@つくば	2006@大阪	2007@東京
24	28	43

問5. SACSI S2008 情報入手先

ML	知人・教員・上司	情処学会 Web	Web 検索	その他
27	45	11	2	13

・ML と回答した人のうち、21 名がメーリングリスト名に「SWoPP」と記載、残りは記載なし。

・Web 検索:Google(1 名)

・その他:「Cell スピードチャレンジに参加して知った」が 5 名、「昨年の SACSI S で知った」が 2 名、「毎年あり、いつも参加しているから」が 2 名。

問6. 参加の主な目的(複数回答あり)

発表	聞きたい発表	チュートリアル	基調・招待講演	Cell への参加	最新動向調査	その他
28	22	8	9	9	32	3

聞きたい発表: 7 名が GPCPU, 3 名が Cell スピードチャレンジ, 2 名が性能最適化, グリッド, 仮想化, 1 名が線形反復法の新技術, スケジューリング, 基盤システム, メニーコア・マルチコア, 省電力, 広域ネットワーク

その他: 「勉強のため」が 2 名, 「交流」「担当者」が各 1 名

問7. 招待者講演の評判

(ア) 基調講演 参加者の評価

非常によかった	よかった	どちらでもない	よくなかった
5	37	18	6

(イ) 基調講演 不参加者の評価

よさそう	どちらでもない	よくなさそう
13	9	1

(ウ) 招待講演 参加者の評価

非常によかった	よかった	どちらでもない	よくなかった
45	21	5	0

(エ) 招待講演 不参加者の評価

よさそう	どちらでもない	よくなさそう
11	6	0

(オ) チュートリアル(1. データセンターにおける電力供給システムと省電力化) 参加者の評価

非常によかった	よかった	どちらでもない	よくなかった
4	10	3	1

(カ) チュートリアル(1. データセンターにおける電力供給システムと省電力化) 不参加者の評価

よさそう	どちらでもない	よくなさそう
28	38	2

(キ) チュートリアル(2. FPGA による高性能計算) 参加者の評価

非常によかった	よかった	どちらでもない	よくなかった
10	17	1	0

(ク) チュートリアル(2. FPGA による高性能計算) 不参加者の評価

よさそう	どちらでもない	よくなさそう
29	31	0

問8. チュートリアル

(ア) チュートリアルの件数

増やしてほしい	ちょうどよい	減らしてほしい
8	71	0

(イ) 今後取り上げて欲しいテーマ

スパコン関係, Transactional Memory は本当に有効か?, メニーコア周辺あたり, 3D スタッフ, セキュリティ Reconfigurable Computing, ケータイ関連技術, 認識系 HPC, システム管理, データセンター系

問9. Cell スピードチャレンジ 2008

非常に良かった	よかった	あってもよい	不要	不参加
30	32	24	1	2

問10. インダストリアル・セッション

非常に良かった	よかった	あってもよい	不要	不参加
12	25	22	3	30

問11. 企業展示

非常に良かった	よかった	あってもよい	不要	見てない
5	44	32	1	10

見ていない理由: 「他のセッションに参加した」が 8 名, 「時間があわなかった」が 2 名

問12. コメント

(ア) 運営全体

- 懇親会は中日が良い。
- 会場の出入りにプログラムが欲しかった。
- スムーズな進行だった。お疲れ様でした。
- 非常に奥が深くてよかった。良い刺激になった。
- 企業の参加を促すという意図は意識されているのでしょうか？
- プロセッサと同じ構造のお弁当が食べたい(例 L2 共有でご飯, お弁当クラスタとか), オクタコアくらいの豪華なお弁当がいい。
- お弁当が欲しい。

(イ) PC 関連

- セッション構成が悪い(レギュラーとチュートリアルが並列, マルチコアと NoC が並列)。(類似のものを含め 2 件)
- 学生の発表とその共著の人の発表の時間帯が重ならなくしていただけたらよかった。
- 関連した興味のある発表がどう時間, 別会場で重なることがあった(A3-1 と C3-1)。
- Cell スピードチャレンジのセッションはプレナリにして欲しい。今回は一般セッション参加をあきらめざるを得なかった。
- 投稿は記名/無記名なのか, ACS 論文誌との兼ね合いを含めて検討して欲しい(論文誌の場合, 査読者に著者が分からないのが普通だと思っていました)。
- 論文の募集の幅を広くしてはいかがでしょうか。いつも同じ所の発表が多く変化が少ない。

(ウ) ポスターセッション・企業展示

- 懇親会でのポスターは盛況でとても良かった。斬新で, ざっくばらんに話ができた。ポスターが増えると難しいかもしれないが, 次も同様にして欲しい。(類似のものを含め 5 件)
- ポスター発表は懇親会とは別に専用の枠を設けた方がよい。(類似のものを含め 3 件)

- ポスターの投票は懇親会中では少々難. 話をしていたので 10-20 分くらいしか見られず, これでは投票しにくい.
- ポスターセッションの企画(シール貼り)はよかったが, はがしにくい. 書きにくいのはいただけない.
- 企業ブースは活発な企業とそうでない企業とがはっきり分かれていたように見えた.

(エ) Cell スピードチャレンジ

- Cell スピードチャレンジは学生のモチベーションの点でも良かった.
- Cell スピードチャレンジの表彰は必要だが, 少しただらしていてシンポジウム表彰よりも比重が重すぎる気がする.
- 開会式表彰は1位から発表した方が良い. 4位からだったので間延びしていた.

(オ) インダストリアル・セッション

- 統一テーマへの各社の発表とパネル討論などはどうでしょうか?
- 不適切な内容の発表があった. (類似のものを含め 2 件)

以上